

令和6年度 第1号
令和6年 7月発行

NPO かとり だより

発行/NPO 法人香取の地域福祉を考える会 理事長 中塚 博勝
〒289-0332 香取市南原地新田 459 番地 TEL0478-83-0566
E-mail honbu@npokatori.jp URL <http://www.npokatori.jp/>
就労支援事業所ワークおみがわ
〒289-0332 香取市南原地新田 459
TEL/FAX 0478-83-8005 E-mail w-omigawa@npokatori



「令和5年度の事業を終えて」

理事長 中塚博勝

梅雨明けが待たれるこの頃です。皆さまにおかれましてはご清祥に過ごしておいでのことと存じ上げます。日頃NPO法人香取の地域福祉を考える会の活動に、温かい関心とご支援を賜っておりますことにお礼申し上げます。

お陰様で先般書面議決による総会、6月18日には対面方式により開催された理事会に於いて、令和5年度事業実施報告並びに事業会計収支決算が、そして任期満了に伴う役員を選任につきましても無事可決承認されました事をご報告申し上げます。

事業実施報告につきましてもの詳細は別掲の通り、主たる事業として「就労支援事業所ワークおみがわ・他法人の事業への連携と協力として、社会福祉法人佐原めぐみ会佐原めぐみこども園において発達支援員としての活動・ひきこもりコアクライシス定期相談会への相談員として参加協力を引き続いて実施し、香取圏域の福祉の向上に寄与して参ります。

どうか皆様におかれましては、法人の活動に大きな関心とあたたかい眼差しを以ってご支援くださいますようお願い申し上げます。

◎ 会 員 募 集 ◎

NPO法人香取の地域福祉を考える会ではさまざまな福祉活動を行うため、多くの会員を募集しております。是非お知り合いの方々をお誘いくださいますようお願いいたします。

会費納入につきましては、振込用紙(手数料不要)を用意しております。下記の表をご参考に、通信欄のお振込み内容を必ずご記入願います。振込用紙の請求は法人事務局までご連絡下さい。

0478-83-0566 担当 鈴木

正会員	年額	1,000円	総会の議決権を有します
賛助会員	年額	1口 1,000円(1口以上)	総会の議決権を有しません
寄付			総会の議決権を有しません

～第三者委員さんに評価していただいています～

ワークおみがわでは、地域の方に第三者委員を委嘱し、事業所の評価をお願いしています。令和5年度における第三者委員による事業所評価について、以下のとおりご報告いたします。

第三者委員の人数	1名(男性)
活動期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
活動回数	7回
活動内容	事業所からの活動報告聴取 利用者からの意見聴取 事業所活動状況の確認 など
利用者からの意見聴取内容と感想	<p>〈利用者の個人的なことについて〉</p> <ul style="list-style-type: none">・家で散歩している人が多い。精神面・肉体面両面に有効であり、今後も継続してもらいたい。・夜は比較的早く寝て、朝は早く起きる人が多い。健全な生活を送っている様子が窺えた。・家で手伝いをしている人がいる。弁当を作っている利用者もあり、情操教育がなされていると感じた。・事業所へ行く時に、辛いと思う人はおらず、事業所に来ることが楽しいと言っている人もいた。利用者が楽しく過ごせるよう気配りをしている事業所の努力の賜物と思う。 <p>〈人間関係について〉</p> <ul style="list-style-type: none">・意地悪な人はいない、皆優しいという意見があった。人間関係は良好のように感じた。・利用者同士で話す時間が短いという意見があった。コロナ対策もありますが、気持ちの交流が少なくなっていることが若干心配である。・一般社会を経験した利用者から、健常者と一緒に仕事することは辛く、競争のないこの事業所に安らぎを感じているという意見があった。・職員は皆優しいという意見があり、利用者の評価は高いと感じた。 <p>〈作業活動について〉</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の皆さん、好きな作業があるとのことだった。また、苦手な作業はないという意見が多く、皆さん仕事に習熟しているように感じた。・仕事に対して、嫌だと思わないという利用者が多く、事業所が利用者の技能に応じた仕事の割り振りが上手く機能していると感じた。・外での仕事は楽しいという人が多く、気分転換になっていると思われた。・施設外作業(野菜の出荷準備作業)が行われたが、一般企業への就労の足掛かりなると思われるので、継続できるよう努力していただきたい。・仕事をして程よく疲れ、よく眠れるようになり、医師から仕事の継続を勧められたという意見があった。



	<p>⇒前ページより 〈事業所に関することについて〉 ・事業所に来ることは楽しいという利用者が多く、困っていることや要望事項についても特に意見はないとのことで、事業所運営に満足している様子だった。 ・令和5年度のバス遠足は好評だったようで、全員また行きたいと回答があったことから、令和6年度もぜひ計画していただきたい。 ・弁当をスーパーへ行き自分で選び自分で購入するという行事は皆さんに好評のようで、レジで支払いに戸惑う人もいますが、社会生活を行なう上での基本動作であり、今後も継続をお願いしたい。</p> <p>〈まとめ〉 ① 利用者から意見や考えを上手く聞き出せないことも多々あり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。 ② 利用者間での争いはなく、職員との関係も問題なく、人間関係は良好のようです。 ③ 仕事に関しては、事業所側のご努力により、利用者の皆さんの苦手意識もなく楽しく作業している様子が窺えます。 ④ 事業所に関しては、問題点の指摘はなく、また改善事項もなく満足しているようです。 ⑤ 利用者の皆さんは、事業所での生活を楽しみ、また満足している様子が窺えました。</p>
<p>第三者委員からの意見・提案</p>	<p>〈外部作業の請負について〉 新たに外部作業として、野菜の出荷準備作業の契約がとれたことは素晴らしいことです。季節性のある仕事で連続しての実施は難しいものの、工賃が高く就労に向けての訓練に繋がるので、今後も契約をとれるようご努力いただきたい。</p> <p>〈携帯電話詐欺について〉 携帯電話を使った詐欺が多発している。最近は詐欺も巧妙化しており、健常者でも見分けることが難しくなっている。携帯電話を持っている利用者も多いので、時々注意喚起をお願いしたい。</p> <p>〈外出行事〉 外食や買い物等の外出行事は、職員にとっては準備や当日のフォロー等が大きな負担となりますが、利用者に変大好評であり、今後も機会を作り実行していただきたい。</p> <p>〈利用者間について〉 仲間と話す時間が少ないという利用者があります。新型コロナ等感染症予防は必要ですが、仲間同士話せる時間の確保を検討していただきたい。</p>
<p>活動を通しての総括</p>	<p>① 利用者からの意見聴取で、トラブルは無く、「皆優しい」、「職員も優しい」、「仕事は楽しい」、という意見が多く、事業所での生活を楽しんでいるように見受けられました。</p> <p>② 利用者の皆さん、朝、事業所に来るのが厭だと思っただけがなく、来ることが楽しいという利用者もあり、事業所は順調に、且、良好に運営されていました。</p>



以上、令和5年度第三者委員の評価報告といたします。
 なお、令和6年度においては、第三者委員を2名(男性・女性1名づつ)配置し、事業所の運営状況や利用者支援状況等の助言や評価を依頼しています。

就労支援事業所 ワークおみがわ

〈活動報告〉

《令和6年1月から6月までの活動について報告します》

- 1月 仕事始め（4日） 初詣・買い物外出（5日） 第三者委員定期訪問日（15日）
香取市シェイクアウト訓練参加（17日） 洪水時避難訓練（26日）
施設外就労（にんじん出荷前作業）開始（22日～2月末まで）
- 2月 節分祭（3日） 誕生会（19日）
- 3月 昼食買い物支援（1日） 第三者委員定期訪問（4日）
- 4月 第三者委員定期訪問（15日）
- 5月 端午の節句を祝う会（2日） 利根川水系連合・総合水防演習見学（18日）
保護者会（24日） 香取特別支援学校実習生実習実施（27日～31日）
誕生会（30日） 山田地区公園除草作業（1日～21日）
- 6月 山田支所・栗源支所除草作業（4日～13日） 令和6年半年経過慰労会（28日）

〈活動報告から①〉

農福連携事業として、千葉県障害者就労事業振興センター・千葉県農林水産部担い手支援課・千葉県香取農業事務所・千葉県農業者総合支援センターにご協力いただき、香取市油田においてニンジンの出荷前作業（葉っぱとしっぽを切り）を試験的に実施しました。利用者及び職員ともに初めて行なう作業でしたので始めはなかなかうまくできないこともありましたが、回数を重ねるごとに要領を得たようで、順調に仕事を進めていけるようになりました。ニンジンの収穫が終了するとともにこの仕事もいったん終了となりましたが、来季もこの仕事を取り組ませてもらえたらと考えています。



〈活動報告から②〉

利根川水系連合・総合水防演習が香取市を会場に開催され見学に行ってきました。演習会場では、災害用伝言ダイヤル117の体験や、緊急車両の展示、救出訓練の実演等が行われていました。また、その中で要配慮者施設における避難訓練の様子として、ワークおみがわで実施した洪水時避難訓練の様子もVTRで紹介されました。引き続き避難訓練を実施し、災害への備えを万全していきたいと思えます。

